

## 2016 年度

### 「経済社会の発展を牽引するグローバル人材育成支援」に伴う 仏検、DELF/DALF、TCF 受験料補助申し込みについて

文部科学省の2016年度補助金により、フランス語の外部試験の団体受験料が全額補助されます。「国際文化学部の学生」が補助対象となります。また「他の学部の学生でも、国際文化学部のフランス語上級アプリケーションを受講している学生」は補助を受けることができます。

関連する申込書は、[廣松勲 \(BT2008/ihimatsu@hosei.ac.jp\)](mailto:ihimatsu@hosei.ac.jp) に提出してください。個人で出願した場合は助成対象とはなりません。1人当たり、年間に3回の受験まで補助を受けられます。

対象となる試験は以下のとおりです。それぞれを組み合わせで受験してください。

- ① 実用フランス語技能検定試験 (仏検) : 準2級, 2級, 準1級, 1級
- ② DELF (Diplôme d'études en langue française) : A2, B1, B2  
DALF (Diplôme approfondi de langue française) : C1, C2
- ③ TCF (Test de Connaissance du Français : TOEFL のフランス語版、レヴェル別試験による可否の判定はなく、点数が6段階の形で評価される)

\*①仏検は、受験会場を選べます。

\*②DELF/DALF と③TCF は、お堀の向こう岸にある Institut français Tokyo が試験会場となります。

\*③TCF については、「仏検準2級もしくは DELF の A2 以上をすでに取った学生」が受験料補助の対象となります。申し込みの際に「合格証明書」を必ず見せてください。

それぞれのレヴェルの対応は、以下の通りです。

仏検	準2級	2級	準1級	1級	<del>初段</del> こんなのないのだ
DELF DALF	A2	B1	B2	C1	C2
TCF	200-299	300-399	400-499	500-599	600-699

日本の文部科学省が後援して公益財団法人フランス語教育振興協会が主催する「仏検」に比べ、フランスの国民教育省が認定する「DELF/DALF」は日本人には組し難いかもしれませんが、とはいえ、仏検準2級や2級に合格した人は、相当レヴェルの A2 や B1 にも、是非とも挑戦してみてください！

## 2016 年度日程

補助対象試験	試験日	法政での申し込み期限
仏検・春(準2級、2級、1級)	6月19日(日)(1次試験) 7月17日(日)(2次試験)	5月16日(月)
TCF	9月18日(日)(必須試験*)	7月29日(金)**
DELF A2	10月16日(日)(筆記) 11月6日(日)(口頭表現)	6月7日(火)***
DELF B1	10月16日(日)(筆記) 10月30日(日)(口頭表現)	6月7日(火)***
DELF B2	10月23日(日)(筆記) 10月30日(日)(口頭表現)	6月7日(火)***
DALF C1	10月16日(日)(筆記) 11月27日(日)(口頭表現)	6月7日(火)***
DALF C2	10月23日(日)(筆記) 11月13日(日)(口頭表現)	6月7日(火)***
仏検・秋(準2級、2級、準1級)	2016年11月20日(日)(1次試験) 2017年1月22日(日)(2次試験)	10月17日(月)

\* TCFには「必須試験」に加えて、筆記もしくは口頭の表現力を問う「補足試験」があります。企業や学校がTCFの成績の結果の提出を要求する場合に補足試験の成績を求めることがあります。「補足試験」は毎年2月頃に行なわれますが、法政大学では補助対象にはしていません。

\*\* 定員制ですので、できるだけ早く申し込んでください。締切前でも定員に達した場合には受け付けられない場合があるので注意してください。

\*\*\* DELF/DALFの法政での申込期限は非常に早く設定してあります。定員制のため早く申し込む必要があるからです。それでも場合によっては申し込みができないこともあり得ます。TCFも定員制なので同じ危惧があります。

・申し込んだ以上、やむを得ない事情(本人もしくは家族の急病、事故)を除き、必ず受験すること。やむをえぬ事情で受験できなかった場合は、試験日から1週間以内に「欠席理由書」を提出しなければなりません。正当な理由なく欠席したり、期間内に欠席理由書を提出しなかった場合は、受験料を返還しなければなりません。特に DELF/DALF は申し込みと試験の間が長いので申し込みの際には予定を十分に確かめてください。

・仏検に関しては、結果が実施団体から本人と同時に大学の担当教員にも伝えられます。  
 ・DELF/DALF および TCF に関しては、本人が結果を大学の事務および廣松に報告してください。  
 DELF/DALF の合格者は合格証を、TCF の受験者は認定証を見せてコピーを提出してください。合否判定票を提出しなかった場合は、受験料を返還しなければなりません。

\*このページ、特に日程表は今後更新される可能性がありますので、見直してください。